令和７(2025)年６月５日
杉並区総務部広報課

小学校で「朝の居場所」事業を始めました

区立小学校２校で「朝の居場所」事業を、５月２８日（水）よりスタートさせました。

区では令和７(2025)年１月に「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」を策定し、将来像として掲げる「すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち」を実現するために、子どもが成長段階に応じて安心して過ごせる多様な居場所づくりを進めています。

これまでも区内の４分の１の小学校で、朝遊びや朝運動といった取り組みが学校と地域の連携のもと行われてきましたが、昨今の保護者の働き方の多様化も加味し、朝７時３０分から学校の開校時間まで、子どもたちが安全に遊びや運動を楽しむなどして過ごせるよう、区立方南小学校と区立杉並第六小学校の２校でモデル事業として「朝の居場所」事業を始めました。

運営にあたっては、学校支援本部※が実施団体となって見守り員を配置し、事前に申し込みのあった児童の遊びや運動などの活動を声を掛けながら見守ります。

方南小学校では、初日には全校児童６１０名中１１２名が登録し、１０４名の参加がありました。参加した児童たちはやわらかいボールを使ったボール遊びや鬼ごっこなど思い思いに遊び、始業までの時間を過ごしました。

区では今回の取り組みをきっかけに、各地域の方々や学校と話し合いを重ねてこの事業を広げていきたいと考えています。

【方南小学校学校支援本部　大嶋　正人本部長のコメント】
「１００人を超える多くの子どもたちが朝から元気に過ごしていました。学生からご高齢の方まで幅広い方々がスタッフとして関わってくれていることもありがたいですね。学校の先生方からは、朝の居場所に参加していた子どもたちは１時間目の授業に臨む雰囲気が良かったという感想をいただきました。まだ始まったばかりなので、子どもたちの様子を見つつ、工夫を重ねていきたいと思います。」

※学校支援本部・・・学校の教育課程内外の様々な活動を支援する地域団体。
令和７年現在、区内小中学校全校で活動しています。

【報道機関 問い合わせ先】
学校支援課長：０３－３３１２－２１１１　内線１６４１
広報課報道係：０３－３３１２－２１１１　内線１５０２